

<令和6年6月11日(火) 教育長定例会見>

おはようございます。学校現場の取り組みを交えながら、最近の動きについて御紹介します。

<高校生の新しい学びがスタート>

SAGA ハイスクールDI人材育成プログラムを SEIRENKATA(セイレンカタ)と名づけました。産業を変革した先人たちの想いを受け継ぎ、将来の佐賀を担うDI人材を育成します。19校から100名の高校生が参加します。

参加する高校生には、「Deep にいこう」と、そして「デジタルで世界をよりよくなる術を学ぼう」「デザインでワクワクをつくり出そう」「ダイナミックに常識を変えていこう」の3つのDを大切にと呼びかけています。

ロゴマークは、パーツに見立てた文字を組み合わせ1つのマークにしました。丸と線はデジタル回路を表現し、ナットを想起させる六角形に、ものづくりの精神を込めました。

SEIRENKATA プログラムは、5月18日に開催した関係機関との連携協定締結式、寄附をいただいた企業への感謝状贈呈式及びキックオフイベントを皮切りに本格的に動き出しています。

6月からは、企業や大学からハイレベルな講師陣を招聘して県内のDIラボ7拠点で講座を開講し、高校生が半導体回路設計、プログラミング、データサイエンス、AI活用といった最先端のデジタル技術と地元学を学びます。卒業後は、大学進学、DI人材として就職し、佐賀で活躍する人材の好循環につなげたいと考えています。

地元学の第1回は、電気工学の祖 志田林三郎をテーマに扱い、講座の中で高校生が自分の考えを述べ、話し合う中で最適解を見つけていくような、ビジネスにも通じる学びが提供されています。

ディープに進む高校生たちをどうぞ、見守ってください。

<佐賀県で先生になりたい!その志・想いを後押しします>

これまで、「教員採用選考の改革」として受験しやすい環境を整え、「魅力発信」では先生へのインタビューを動画配信するなど、様々な教員確保に向けた取組を行ってきました。今回その中の1つ、「ペーパーティーチャーの研修講座の充実」を紹介します。

ペーパーティーチャーとは、教員免許取得者で教職に携わっていない方のことです。文科省によると、教員免許を取得した人、国公立大学の教員養成系の学部を卒業した人のうち、教員になっていない人が、最近では4割、過去には5～6割の年もありました。

また、佐賀県の教員採用試験の倍率の推移から、平成10年～19年ごろまで高倍率が続き、採用数が少なかった時期がありました。今の年齢にすると40歳前後から50歳前後の方々の先生になりたくても採用にならずに諦めた方がいらっしゃると思えます。

教育委員会としては、そのような方々や同じ想いをもった方々の教員になりたい気持ちを後押しするペーパーティーチャー研修を実施します。

本講座は、教員免許取得後に教職に就いたことがない方や教職に就いたが、早期に退職した方などを対象に、最近の学校事情や授業の作り方、教員免許制度などを説明するもので、県内3か所で開催します。また、今年度は新たに、第2弾、第3弾として学校見学や授業づくりの演習、個別相談会を行いより具体的に踏み込んで自信をつけていただける機会にしたいと考えています。

加えて、佐賀大学の教職大学院では、2年間かけて学び直しができる制度があります。じっくり学びたい方は、教職大学院に入学し、学び直しができることを紹介していきたいと考えています。

<SAGA インターハイまで1か月!>

SAGA インターハイ開幕まで、あと 42 日となりました。佐賀県では、7月 23 日のフェンシングから始まり、計6競技を開催します。

5月から6月初めにかけて、県の高校総体が開催され、一部の競技を除き、インターハイ(全国大会)に出場する高校生が決定しております。高校生の全国での活躍を期待しております。

また、SAGA インターハイを支える高校生活動推進委員会「さがまる」が、県高校総体の開会式でインターハイのPRをしました。現在は、会場を装飾する草花の栽培とそれを飾る花台を高校生が手作りで準備しています。加えて、メッセージつきのうちわ、応援者用うちわ、デザインを考案したオリジナルシューズ入れ、宿泊施設に飾るミニのぼりの制作など、高校生自ら企画し大会を盛り上げようと取り組んでいます。

そして、6月 22 日にはインターハイ直前イベント「STAND BY meeting」を開催します。北部総体に出場するすべての選手、SAGA インターハイを支える高校生にエールを送るイベントです。「する」「みる」「ささえる」それぞれの立場でインターハイを盛り上げていければと思います。

イベント当日は、元久光スプリングスの石井優希さん、元サガン鳥栖の高橋義希さんを特別ゲストに迎え、高校生とのトークショーを企画しています。その他にも、高校生のブース出展、高校生の演奏とダンスパフォーマンス、来場者がイベント会場から応援メッセージを投稿する企画、オリジナルグッズが当たる抽選会があります。

SAGA インターハイに向けて高校生が企画を考え、様々な取組を進めています。夏のインターハイは、秋に開催されます SAGA2024 国スポ・全障スポにつなげていく大会にしたいと思います。

<中学生への「会計」出前授業やってます!>

昨年度から、商業高校の先生による中学生会計の出前授業を行っています。

中学生は社会科として経済活動や社会の仕組みを学びますが、会計の意味を学ぶことで、よりその内容について理解しやすくなります。ただ、会計は中学校ではなじみのない分野かと推察できま
すので、商業高校の先生が出前授業という形でサポートをしています。

去年は、分かりやすい教材の作成や出前授業を8校で実施しています。その中で関心を持った生徒には日商簿記初級プログラムへの案内し 46 名の生徒が申込みされ、自主的に会計学習会に参加された生徒もいます。また、日商簿記初級に6名の生徒が受験し、5名が合格したという嬉しい話も聞いています。

授業に参加した生徒からは、企業の売り上げなど、一目でその会社の状況の変化がわかる会計のすばらしさがわかった、との感想がありました。このような取組を通じ、生徒が経済活動や社会の仕組みについて関心を持ち、将来の選択に役立つお手伝いができるという紹介でした。

<佐賀西高校で、令和6年4月から「標準服制度」が導入されました!>

佐賀西高校では、令和6年4月より標準服制度が導入されています。

標準服制度は、指定日には標準服、ほかの日は私服での登校を認める制度です。生徒制服検討委員会を中心に検討を進め、昨年夏休み・冬休みの試行期間を経て、4月から導入に至りました。現在、3~4割程度の生徒が私服で登校し、気温に応じて調節しやすい等、生徒の反応は非常によいと聞いています。

生徒が自ら考えて、判断し、行動する取組としてご紹介します。

<対面やオンラインによる高校進学説明会を開催します!>

対面やオンラインにより高校進学説明会を開催し、県内の高校の魅力や特色を発信しています。対面の高校進学説明会は県内5会場で実施し、各地区で、県立高校、私立高校、高等専修学校がブースを設けます。また、さらに詳しく聞きたい方には、個別相談会を予約制で受け付けます。

実際に参加した方からは、生徒が聞きたいことを直接質問でき、保護者も参加できるなど、好評をいただいています。また、鳥栖・嬉野会場は、すでに開催し、多くの方に来場していただきました。

オンライン高校説明会は、6月初めからウェブで動画を公開しており、いつでもどこでも視聴が可能で、質問フォームから投稿することができます。

さらに、今年度から新たに「出張!佐賀さいこう!高校進学説明会」を隣県の久留米市と佐世保市の商業施設で開催しました。加えて、首都圏の移住者向けイベントで、ブース出展を予定しています。こちらのイベントでは、全国募集をしている有田工業高校と唐津青翔高校のPRなどを行い、教育内容や学校行事、住まいの相談にも応じます。より多くの方に佐賀県への進学に関心を持っていただくきっかけとなればと思います。